

平成 21 年度 通常総会 議案

平成 21 年度

事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書

自 平成 21 年 1 月 1 日 至 平成 21 年 12 月 31 日

平成 22 年度

事業計画、事業予算書

自 平成 22 年 1 月 1 日 至 平成 22 年 12 月 31 日

その他総会議案

「理事・役員」、「相談役・顧問・参与」選任の件

任期平成 22 年 3 月 23 日～平成 24 年 3 月 22 日

平成 22 年 3 月 8 日

社団法人北海道倶楽部

目次

第1号議案

平成21年度

庶務事項報告	1
事業報告	6
会員異動状況	14
損益計算書（正味財産増減計算書）	15
同上（対前年、対予算）	16
キャッシュフロー計算書	17
貸借対照表	18
資産および負債の科目別増減額	19
財産目録	20
計算書類に対する注記	21
監査報告書	22

第2号議案

平成22年度

事業計画書	23
事業予算書	25

第3号議案

「理事・役員」、「相談役・顧問・参与」選任の件	26
-------------------------	----

その他

平成21年度 庶務事項報告

平成21年1月1日 から 平成21年12月31日 まで

種 別	概 要
1. 通常総会 3月4日	<p>第1号議案 「平成20年度 事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書」ほか承認の件</p> <p>第2号議案 「平成21年度 事業計画、収支予算書」承認の件</p> <p>第3号議案 その他総会議案</p> <p>1. 「会長、理事長」任免の件 2. 「常務理事」ならびに「総会構成員」の件 3. 「除名」の件 (於 東京 恵比寿 サッポロビール(株) 本社講堂)</p>
2. 理事会 2月12日	<p>第1号議案 平成20年度通常総会 議案について</p> <p>第2号議案 幹事新任報告、新入会員審査、および会費未入金による除名予定者の件</p> <p>第3号議案 1.東京事務所建て替えについて 2.新聞広告の件 3.平成21年新年交礼会開催報告の件 (ふるさと納税のキャンペーン実施) (於 北海道東京事務所 会議室)</p>
4月30日 (書面理事会)	<p>第1号議案 役員辞任、就任の件</p> <p>第2号議案 新入会員審査の件</p> <p>第3号議案 1. 特別講演会開催の件 (ドクターヘリについて 國松 孝次 (元警察庁長官)) 2. 新聞広告の件 3. ふるさと納税の状況 4. 幹事の追加について 5. 後援名義の使用承認の件 (①映画「いい爺ライダー」東京上映会、②道産子サッポロビール会) (書面理事会)</p>
6月18日	<p>第1号議案 秋葉原での公益事業の件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：平成21年8月7日 (金) 13～21時 ・場所：ベルサール秋葉原 1階 イベントホール ・秋葉原タウンマネジメント株式会社 (千代田区出資)プロモーション ・秋葉原グリーンフェスティバル実行委員会 (仮) 主催の「グリーンフェスティバル2009」に地域連携イベントとして参加 <p>予定検討行事 (項目名称等は、仮題である)</p> <p>1. 各種北海道情報の広報活動 (以下予定、例示の広報活動テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展示、パンフレット配布等、パネル等設置予算50万円 ・環境サミット一周年 (ビデオ上映ほか) ・北方領土 ・ふるさと納税 (本年度ギフトの展示など) ・北海道新幹線 ・アイヌ (ムックリ無料配布と講習 倶楽部予算15万円) ・自然の村 ・ちょっと暮らし ・食 ・会員自治体コーナー

種 別	概 要
6月18日 つづき	<p>2. 特別講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演題「救急ヘリ」 ・講師 國松孝次 救急ヘリ病院ネットワーク理事長（元警察庁長官） <p>3. 北海道情報広報活動キャンペーン 交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会后、立食で交流会（ケータリング委託先 銀座ライオン） ・会費5千円（料理、飲料実費） <p>第2号議案 役員改選、幹事新任、新入会員審査の件</p> <p>第3号議案 1. 新聞広告の件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前理事会で検討した、新聞広告について60名弱の協賛申込があった。添付案で申込者に最終確認中である。6月下旬から7月をめどに掲載予定。 <p>2. 広報誌発行配布について</p> <p>公益事業となるよう、北海道情報誌へ会報の変身を図るため、会員外の読者層を狙った記事を集め、配布対象を広げ配布することを検討中である。</p> <p>A N Aのマイレージクラブ会員誌「B i r d's」に同梱12万部程度（関東居住者、51～65歳、男女 約121,000名 同梱@20円 約242万円 カラー印刷代 総予算360万円程度）11月配布予定</p> <p>3. 後援名義の使用承認の件</p> <p>「NPO法人北海道科学活動ネットワーク」からの「'09青少年のための科学の祭典北海道大会」開催に伴う後援名義の使用承認と入会について（於 北海道東京事務所 会議室）</p>
8月31日 (書面理事会)	<p>第1号議案 秋葉原イベントご報告の件（開催内容別紙パンフレット）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開催日時 平成21年8月7日(金) 2. 場所 ベルサール秋葉原（住友不動産秋葉原ビル1F） 3. 開催項目 以下の公益事業を成功裡に完遂した。 <ol style="list-style-type: none"> ① 情報展示多数来場 ② 特別講演会 聴衆約150名 <p>演題 「命の危機管理」 國松 孝次先生 （救急ヘリ病院ネットワーク理事長、元警察庁長官・スイス大使）</p> ③ 交流の夕べ 参加申込150名 参加総数180名 <p>4. 報道等 以下の記事等が掲載された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント欄予告記事 朝日、毎日、読売 ・紹介記事 東京新聞、北海道新聞 ・爾後紹介記事等 北海道新聞、HBC（テレビ撮影）

種 別	概 要
	<p>第2号議案 「交流イベント We Love Hokkaidoー われわれは何をすべきか」開催の件 旧道産子の会を本年は上記名称にて、通算46回目の交流イベントを開催する。限られた参加者を前提とした名前から公益事業にふさわしい名称とする。 開催日時 平成21年10月20日18時～20時 場所 ウエスティンホテル東京 ギャラクシールーム 開催内容 「北海道のためにわれわれはなにをすべきか」を基調テーマに公益事業として以下をおこなう。 なお、本年は世話人会を設置せず。北海道倶楽部の主催とする。 ①提案募集「北海道のために、われわれはなにをすべきか」の優秀作発表 ②ふるさと納税キャンペーン ③北海道産品の配布 ④宮崎県との交流 ⑤福引き</p> <p>第3号議案 新入会員審査の件 第4号議案 理事・監事 辞任、就任の件 (書面理事会)</p>
10月28日	<p>第1号議案 各部会報告 (1) 交流イベント開催結果について 事前販売入場券121枚 事前贈呈招待券197枚 小計318枚 当日売入場券 137枚 合計455枚 協賛金 215万円 収支については集計中 来年度も同様に実施したい。 (2) 新年交礼会について 昨年同様に実施したい。 1月22日(金)18時 ホテルニューオータニ 麗の間 (3) ふるさと納税対応について 本年も「交流イベント」のご案内にふるさと納税パンフレットを同封した。現在34名申込 昨年同様、3万円以上の寄附をした人には寄附者自己負担に見合う、5千円今後パンフレット送付名簿整備、WEB対応等を活用し広報活動を行う。 (名簿整備等に派遣等の費用が必要) (以上公益事業費予算対応) (4) 会員名簿配布について 平成21年版会員、市町村、ふるさと会名簿を作成し配布した。</p>

種 別	概 要
10月28日 つづき	<p>費用等 平成21年版 平成18年版</p> <p>印刷代 457,275円 1,184,400円 その他 集計中（郵便他） 445,600円 差引 1,437,725円 1,125,000円</p> <p>(5) 北海道倶楽部の公益事業について道民の提案を募集する件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞広告（7月実施、広告1,155,000円、賞金総額220,000円 協賛56人@1万円、公益事業費予算） ・表彰式について 新事業部会の選考委員が選考（最優秀賞1、優秀賞3、特別賞1） <p>第2号議案 新入会員審査の件 第3号議案 その他</p> <p>1. 後援名義の付与について（事後報告） 下記公演に後援名義を付与した。 北海道くしろ蝦夷太鼓保存会 「蝦夷太鼓」東京・サントリー（ホール）公演 平成22年2月6日（土） 18時 （於 北海道東京事務所 会議室）</p>
12月17日	<p>第1号議案 本年度事業報告の案、来年度事業計画策定の方針</p> <p>(1) 本年度事業報告案は別紙の案を基に作成したい。 別紙の残高試算表は最新のものであるが、公益事業引当金収入800万円などの決算調整はしていない。</p> <p>(2) 来年度事業計画については、本年度の事業と同様に下記事業を行うことを基本とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流事業 新年交礼会（1月）、交流の夕べ（7、8月）、交流イベント（10月） ・メディア事業 会報、北海道情報ラック、広報誌 ・調査研究事業 提案募集、講演会 <p>(2) 各事業における具体のコンテンツは本年のコンテンツを基に提案募集の成果も加味し各部会で協議し検討のうえ実施することとする。</p> <p>第2号議案 役員退任、新入会員審査の件 平成21年6月30日退任 理事 高宮行男（就任昭和59年3月22日、死去による退任）</p>

種 別	概 要
12月17日 つづき	<p>第3号議案 その他</p> <p>1. 北方領土返還運動普及のための「きっかけグッズ」頒布事業開始について</p> <p>2. 新年交礼会について 昨年同様に実施したい。 キャンペーン 「北方領土返還」と 「北方領土返還運動普及のための“きっかけグッズ”の頒布」 1月22日（金）18時 ホテルニューオータニ 麗の間</p> <p>3. 総会は3月8日（月曜日）12時30（サッポロビール本社講堂）の予定 (於 日枝神社 山王茶寮)</p>
部会 定例月1回	<p>既存事業部会・新事業部会を毎月1回開催し、事業の細目について議論した。</p> <p>(於 北海道東京事務所 会議室)</p>

平成21年度 事業報告

平成21年1月1日 から 平成21年12月31日 まで

種 別	内 容																		
1. 出 版	会報 622号から632号まで発行(毎月1日 但し2月1日号は休刊) 北海道情報の道外広報を指向 会員以外の一般配布を行う(ふるさと会、同窓会、情報ラック等)																		
10月1日	創立60周年記念平成21年版会員、市町村、ふるさと会名簿作成																		
2. 北海道情報	北海道情報のパンフレットなどを入れた情報ラックの配布 設置24カ所毎月配布 (パンフレット・会報)																		
3. ふるさと納税	ふるさと納税者へ「大使館員任命証」「カタログギフト」贈呈制度 会報、交流イベントや交流会キャンペーンにおいて広報																		
4. 講演会	演題 「命の危機管理」 國松 孝次先生 聴衆150名 8月4日 (救急ヘリ病院ネットワーク理事長、元警察庁長官・スイス大使) (於 東京 ベルサール秋葉原)																		
5. 調査研究	提案募集「北海道のために、われわれはなにをすべきか」 7月9日 北海道新聞朝刊に提案募集広告(5段、8月31日〆切り) 新事業部会で選考 10月20日 恵比寿ウエスティンホテル東京の交流イベントで入選作5作品発表 10月28日 J Rタワーホテル日航札幌で入選作の表彰式 北海道新聞等で報道																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>入賞者</th> <th>提案</th> <th>賞</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>椿原 庸夫</td> <td>「北海道感動物語」の募集と広報活動</td> <td>最優秀賞</td> </tr> <tr> <td>櫻田 隆雄</td> <td>牛乳の消費拡大策</td> <td>優秀賞</td> </tr> <tr> <td>阿久津 哲郎</td> <td>元気人の発掘、取材、報道</td> <td>優秀賞</td> </tr> <tr> <td>岡澤 秀郎</td> <td>北海道倶楽部賞の創設</td> <td>優秀賞</td> </tr> <tr> <td>株式会社電通北海道</td> <td>みんなの力でドクターヘリを</td> <td>特別賞</td> </tr> </tbody> </table>	入賞者	提案	賞	椿原 庸夫	「北海道感動物語」の募集と広報活動	最優秀賞	櫻田 隆雄	牛乳の消費拡大策	優秀賞	阿久津 哲郎	元気人の発掘、取材、報道	優秀賞	岡澤 秀郎	北海道倶楽部賞の創設	優秀賞	株式会社電通北海道	みんなの力でドクターヘリを	特別賞
入賞者	提案	賞																	
椿原 庸夫	「北海道感動物語」の募集と広報活動	最優秀賞																	
櫻田 隆雄	牛乳の消費拡大策	優秀賞																	
阿久津 哲郎	元気人の発掘、取材、報道	優秀賞																	
岡澤 秀郎	北海道倶楽部賞の創設	優秀賞																	
株式会社電通北海道	みんなの力でドクターヘリを	特別賞																	
6. 後援ほか	田んぼdeミュージカル委員会 映画「いい爺ライダー」東京上映 4月16日 08地域づくり総務大臣賞受賞、スポニチ文化芸術大賞グランプリ (後援 北海道ほか 於 渋谷 ユーロスペース)																		
5月21日	第53回道産子サッポロビール会 (協賛 サッポロビール㈱ 於 椿山荘)																		
10月2～4日	北海道フェアin代々木 (協賛 北海道ふるさと会連合会ほか 於 代々木 22万人来場)																		
5月17日～ 翌年2月6日	NPO北海道科学活動ネットワーク、(財)日本科学技術振興財団、 科学技術館 主催 「'09青少年のための科学の祭典北海道大会」 (後援 文部科学省、北海道ほか 札幌市内14会場、他道内19会場)																		
H22.2.6	北海道くしろ蝦夷太鼓保存会 「蝦夷太鼓」サントリーホール公演 (後援 北海道ほか 於 サントリーホール)																		

種 別	内 容
7. キャンペーン・情報交流 1月23日	平成21年新年交礼会 ふるさと納税キャンペーンの中間報告 (於 ホテルニューオータニ「麗の間」 180名来場)
8月4日	<p>秋葉原イベント (第13回交流の夕べ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：平成21年8月7日 (金) 13～21時 ・場所：ベルサール秋葉原 1階 イベントホール ・秋葉原タウンマネージメント株式会社 (千代田区出資) プロモーション ・秋葉原グリーンフェスティバル実行委員会主催の「グリーンフェスティバル2009」に地域連携イベントとして参加 <p>【実施内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各種北海道情報の広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展示、パンフレット配布等、パネル等にて下記を展示 ・環境 (サミット一周年ビデオ上映ほか) ・北方領土 ・ふるさと納税 (本年度ギフトの展示など) ・北海道新幹線 ・アイヌ (ムックリ無料配布と講習) ・自然の村 ・ちょっと暮らし ・食 ・会員自治体、大学独立法人帯広畜産大学等コーナー 2. 特別講演会 <ul style="list-style-type: none"> ・演題 「命の危機管理」 國松 孝次先生 3. 北海道情報広報活動キャンペーン 交流会 (第13回交流の夕べ) <ul style="list-style-type: none"> ・講演会後、立食で千代田区、北海道関係者交流会 <p>参加者180名 (於 ベルサール秋葉原)</p>
10月20日	<p>「交流イベント We Love Hokkaidoー われわれは何をすべきか」 (旧 第46回道産子の会)</p> <p>開催日時 平成21年10月20日18時～20時 場所 ウエスティンホテル東京 ギャラクシールーム</p> <p>開催内容 「北海道のためにわれわれはなにをすべきか」を基調テーマに公益事業として以下をおこなう。参加者500名</p> <p>【実施内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①提案募集「北海道のために、われわれはなにをすべきか」優秀 ②ふるさと納税キャンペーン ③北海道製品の配布 ④宮崎県との交流 ⑤福引き <p>(於 ウエスティンホテル東京)</p>

新年交礼会

今こそダイナミックな創造を

松田会長あいさつで語る 作家など多士済済200人が出席

北海道倶楽部の新年交礼会が一月二十三日、東京・千代田区のホテルニューオタニで開かれ経済人、道内マスコミ人のほか、テレビコメンテーターとして活躍している三井物産戦略研究所所長の寺島実郎氏、作家



(右) 松田会長と作家の谷津涼さん、蜂谷優子さん、佐々木愛さん、今こそみんなでダイナミックに新しいものを創造しようと呼び掛けた。続いて谷口和史国土交通大臣政務官、佐藤俊夫道副知事がある。また倶楽部副理事長の

岡村進氏(ふるさと北海道応援大使)が、今年もふるさと納税キャンペーンを実施すると表明、道からこれまでの「納税」状況が報告された。このあと懇談に入った。劇団文化座公演の「てけ

ふるさと納税キャンペーンを継続

倶楽部仲介700万円に

北海道倶楽部は今年も「ふるさと納税キャンペーン」を継続実施する。「ふるさと納税」は倶楽部が昨年から道と連携して推進してきた。道が明らかにしたところによると、北海道と道内市町村に寄付された総額は、昨年十二月末現在で四億三千百七十一万円。このうち

新理事長に西村氏

「北海道発展に寄与する」

三月四日開かれた北海道倶楽部総会で松田昌士会長兼理事長が理事長を辞任、会長専任となり、新理事長に副理事長の西村守正氏が選ばれた。

西村新理事長はあいさつの中で「倶楽部は今年公益事業推進の第二ステップに入った。倶楽部会員であることを楽しみながら、北海道発展に寄与したい」と述べた。また松田会長は「旅、文化の分野で北海道と本州と



また昨年からはじめたキャンペーン、北海道情報掲載のパンフレット、会報を入れて北海道をPRする「情報ラック」の都内配置促進などが計画されている。

倶楽部総会

公益事業費に800万円 移住事業など積極的に推進

北海道倶楽部の平成二十年度通常総会が三月四日、東京・渋谷区のサッポロビール本社講堂で開かれ、平成二十年度収支報告書、平成二十一年度予算、事業計画などを承認した。

「北海道ちよつと暮らし」事業を継続して推進する。特に「ちよつと暮らし」は「住んでみたい北海道推進会議」と共催で移住フェアに参加、より積極的な姿勢を示すことになった。このほかでは道内市町村との行政懇談会、マスコミとのメディア懇談会の開

アキバグリーンフェスティバル 2009

社団法人北海道倶楽部
03-3581-4021
http://www1.ocn.ne.jp/~h-c/

北海道発 8月7日(金)

● 14:00 ~ 20:00

北海道発(無料) 情報展示

緑の北海道
素晴らしい環境と豊かな食

アイヌ
自然との共生

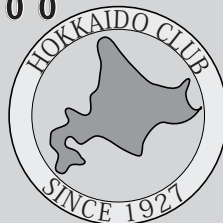
北方4島
豊かな自然と歴史

北海道新幹線
どのくらい早くなる?

自然の村 = 学ぶ
小中生の自然体験学習

国立大学法人帯広畜産大学
環境、獣医、農畜産を研究!

北海道の移住、生活、観光
ずっと暮らす、ちょっと暮らす
○浦河○帯広○釧路○



*We Love
Hokkaido*

美しい
北海道のパンフ
レットをどうぞ!

無料贈呈
アイヌの「ムックリ」

無料試飲
国立大学帯広畜産大学
法人帯広畜産大学
農場産
「畜大牛乳」「青汁」

抽選で贈呈
「北海道日原メロン」

北海道産品の販売
社団法人北海道倶楽部セレクト

その他、ボールペン、ティッシュ等を贈呈
配布物の数には限りがあります。無くなり
ましたらご容赦下さい。

北海道にふるさと納税して北海道倶楽部からギフトを貰おう

● 17:30 ~ 18:30 特別講演会(無料)

「命の危機管理—ヘリコプター救急の普及を目指して—」

講師 認定NPO法人 救急ヘリ病院ネットワーク 理事長
國松 孝次 先生(元警察庁長官、元スイス大使)



会場案合図 ベルサール秋葉原
東京都千代田区外神田 3-12-8 住友不動産秋葉原ビル1F



● 18:30 ~ 20:30

「交流の夕べ」 (参加費 5千円)

北海道発情報キャンペーン!

飲物、食事、福引景品いろいろ

情報展示、講演会、交流会はどなたでも当日参加出来ます。

(席に空きがない場合はご容赦ください)

CHOMMA

社団法人北海道倶楽部 事業報告 資料 (会報等)

第53回道産子サツポロビール会開く

テーマは「空知の食」

特産のそば、ラーメンに人気

第五十三回道産子サツポロビール会が五月二十一日、東京・文京区の椿山荘で開かれ、四百五十人が参加した。会場入り口では、新型インフルエンザに備えて消毒液が用意された。



倶楽部後援

北海道倶楽部 北海道新聞に広告 公益事業の提案募集

北海道倶楽部は七月九日の北海道新聞朝刊に、五段広告Ⅱ写真Ⅱを掲載、北海道のために今後倶楽部がどのような公益事業を実施すべきか、道民からの提案を募集した。

北海道新聞朝刊に、五段広告Ⅱ写真Ⅱを掲載、北海道のために今後倶楽部がどのような公益事業を実施すべきか、道民からの提案を募集した。

北海道新聞朝刊に、五段広告Ⅱ写真Ⅱを掲載、北海道のために今後倶楽部がどのような公益事業を実施すべきか、道民からの提案を募集した。

北海道新聞朝刊に、五段広告Ⅱ写真Ⅱを掲載、北海道のために今後倶楽部がどのような公益事業を実施すべきか、道民からの提案を募集した。

北海道新聞朝刊に、五段広告Ⅱ写真Ⅱを掲載、北海道のために今後倶楽部がどのような公益事業を実施すべきか、道民からの提案を募集した。

北海道新聞朝刊に、五段広告Ⅱ写真Ⅱを掲載、北海道のために今後倶楽部がどのような公益事業を実施すべきか、道民からの提案を募集した。

「サツポロビールでインフルエンザを吹き飛ばそう」と乾杯の音頭。

「山傘」の「男衆」八人が登場した。「山傘」は一斗もあり、会場には搬送できなかったが、この日はハッピー姿の「男衆」が威勢よく登場、舞台では祝い歌を披露して夏祭りの勇壮さをしのばせた。

毎年芦別市の夏祭り「芦別健夏まつり」を盛り上げている八人の「男衆」が、真っ白のハッピー姿も勇ましく入場

北海道新聞朝刊に、五段広告Ⅱ写真Ⅱを掲載、北海道のために今後倶楽部がどのような公益事業を実施すべきか、道民からの提案を募集した。

北海道新聞朝刊に、五段広告Ⅱ写真Ⅱを掲載、北海道のために今後倶楽部がどのような公益事業を実施すべきか、道民からの提案を募集した。

北海道のためにわれわれは何をすべきか？



We Love Hokkaido

北海道倶楽部は新渡戸稲博士など東京近辺在住者を中心に昭和二年に創立され、戦後(昭和二十三年)再組織し、北海道を愛する人々、関わりのある企業が北海道に対する提言や支援、北海道のPR、交流など北海道に貢献する活動をしている社団法人です。

これまで東京を中心に活動を展開してまいりましたが、公益社団法人の認定を受けるべく公益活動の強化を図る観点から、北海道のニーズや動向等の情報を積極的に集め、東京地区への情報発信など活動の充実を図るべく再組織化から六十周年を迎えた昨年、「北海道支部」(JR北海道本社内)を開設し、今回「ご提案の公募」をおこなうこととしました。



会長 松田 昌士

ご提案下さい

応募要項ほか (HPも参照ください。今後のお知らせを掲載します。内容：1. 北海道民として北海道のために何をすべきか 2. 北海道倶楽部がどのような公益事業を実施すべきか 上記1または2のどちらかで、実行可能なもの 形式：A3用紙1枚以内手書き又はwindows形式の下記ファイル (CD-R、MO、FDD、プリントアウト添付のこと) (ワード、エクセル、パワーポイント、イラストレーター) 提出期限：平成21年8月末日 応募した提出物、アイデア等の著作権・所有権は無償で社団法人北海道倶楽部に帰属します。 選考・賞：選考委員会を組成し、応募作品を選考します。(発表10月未予定) 最優秀応募賞1点は10万円相当、その他優秀応募賞に賞金、賞品 提出先：〒100-0014千代田区永田町2-17-17 北海道東京事務所4階 社団法人北海道倶楽部 提案応募係 TEL03-3581-4021 FAX03-3581-4022 E-mail:hokkai-club@solei.ocn.ne.jp

Table listing members and officers of the Hokkaido Club, including names and titles like Chairman, President, and various committee members.

2009北海道NOW in秋葉原

パネル展・講演・交流の夕べ 多彩な情報首都圏へPR



「なかなかうまくいかない」と首をひねりながらアイヌ民族楽器ムックリの鳴らし方を熱心に教わる

北海道の「今」を首都圏に発信する北海道倶楽部のイベントが8月7日、道の全面的な協力を得て、東京・千代田区の秋葉原で開かれた。

会場には「ふるさと納税キャンペーン」コーナー、「北海道ちょっと暮らし」コーナーや釧路、帯広、浦河各市町村のPRコーナーも設けられた。



秋葉原のイベント会場前に立ち並ぶ北海道倶楽部ののぼり

パネル展

食・観光・新幹線・北方領土 アイヌムックリ演奏も楽しむ

展示されたパネルは「自然との共生」をテーマにしたアイヌ文化、自然と歴史がテーマの北方領土、北海道新幹線の効用、北海道の食、観光など約100枚にのぼった。

アイヌ文化の展示コーナーでは民族衣装を試着してみる来場者も。また無料で配られた伝統楽器ムックリの講習会も開かれた。

先住民の音楽を研究しているアメリカ人が、会場を訪れ、カメラを向けたり、自らもムックリ演奏に挑戦する姿も見られた。

このほか帯広畜産大学が作った「青汁」試飲コーナー、「ちょっと暮らし」コーナー、浦河町、帯広市、釧路市のPRコーナーが設けられた。「青汁」は十勝産の長いも、小麦若葉、枝豆が原料で、飲んだ人の間で「おいしい」と好評だった。

また「北海道日原メロン」や「富良野メロン」が当たるじゃんけん勝ち抜き戦も行われ、合計40個ほどのメロンが配られた。北海道のメロンとあって通りがかりの人も含め約150人が参加、思わぬ北海道土産を手にして嬉しそうだった。



北海道日原メロンと富良野メロンが当たるジャンケン勝ち抜き戦



帯広畜産大製造の「青汁」はすっかり飲みやすいと大好評だった

政治 経済など幅広い分野の情報を交換する「交流の夕べ」が午後6時半から開かれ、千代田区役所や地元秋葉原の商店街の人たちも含め150人が出席した。

交流の夕べ

150人ふるさとに乾杯 秋葉原地域との連携強化

西村守正・北海道倶楽部理事長(大明相談役)、松田昌士同会長(JR東日本相談役)に続いて秋葉原タウンマネージメント取締役の河合洋氏がいささつに立った。

同氏は「千代田区のアキバグリーンフェスティバルは秋葉原が一体となって行う初のイベント」とした上で、自然と共生する北海道が、グリーンフェスティバルの一環として、また千代田区の地域連携の最初の試みとして、魅力ある情報を発信するイベントを開催した。

このあと倶楽部副会長の小池明夫氏(JR北海道会長)が乾杯の音頭をとり懇談に入ったあと抽選会が行われた。

カレー・缶詰セット、(礼通商事)、日原メロン、骨付き生ハム(帯広畜産大学)、チーズセット(雪印乳業)、食事券(銀座ライオン)、ビール、ワインセット(サッポロビール)、焼酎セット(オエノン)、ビデオ「懐かしい昭和の風景(HBC)」など、多くの景品が提供され会場が沸いた。

たのは非常に意義があることを強調した。

交流イベント(旧道産子の会)

「We Love Hokkaido」開く



会場を埋めた参加者と共に「好きです!」北海道!と乾杯の音頭を取る村上隆男サッポロホールディングス社長

ふるふる納税26人に北海道応援大使館員証

松田会長「道産子の力発揮しよう」

昨年までの「道産子の会」を改称した北海道倶楽部の「交流イベント We Love Hokkaido」が10月20日、ウエスティンホテル東京で開かれた。通算では46回目。道産子や北海道が好きなお約500人が集まり、ビールやワインを飲みながらいぜん経済が厳しい北海道にエールを送った。

西村守正倶楽部理事長の開会あいさつの後、高橋はるみ北海道知事の「北海道の魅力ある情報を首都圏に

発信している北海道倶楽部に感謝している。今後もご協力を」というメッセージが紹介された。

続いて倶楽部を經由して北海道に「ふるさと納税」した26人に、道東京事務所

の川城邦彦所長から「ふるさと北海道応援大使館員」任命証が渡された。



高額の毛皮のコートが当たって喜ぶ女性

「北海道にはアジアナンバ一ワンの農水産物がある。もっと勢いを出す工夫が必要だ。積極的な輸出を考え

るなど、道産子の力を発揮してほしい。倶楽部も協力しよう」と呼びかけた。

続いてサッポロホールディングスの村上隆男社長が乾杯の音頭をとり、村上社長「好きです!」の発声に「北海道!」と参加者が答え、懇親会に入った。



無料で全員に提供された北海道斜里町特産のジャガイモは非常に好評だった

道産食材を満喫

会場には北海道産のホタテ、サーモン、ジャガイモ、小豆などを使った料理が並べられた。サケの「押し寿司」や「北海道ばらちし」あずきご飯、石狩汁、お汁粉などが人気を集めていた。協賛各社から提供されたビール、ワイン、日本酒は飲み放題。

アトラクションでは歌うバイオリンリスト百香さんが登場。百香さんは室蘭市出身で、東京音楽大卒業。バイオリンを弾きながら歌うという新しいスタイルで、道内のほか東京、大阪、沖縄など全国コンサートで活躍している。

この日はオホーツクのイメージソング「あなたへ」など数曲を演奏、会場を樂しました。

公益事業提案 応募入賞者決まる 最優秀に「北海道感動物語」

北海道倶楽部は10月6日、新規事業部会を開いて公益事業提案応募作品23件について選考、最優秀作1点(賞金10万円)、優秀作3点、特別賞1点(以上賞金3万円)を選び、20日の交流イベントで発表した。

◆最優秀作 椿原庸夫氏(札幌市) ①「北海道感動物語エッセイ募集」北海道に行っで感動した体験をつづったエッセイ募集。

選考基準は①北海道の振興につながる②公益事業である③北海道倶楽部が実施可能な内容の3点。入賞者と提案概要次の通り。

◆優秀作 ②北海道の意外と知られ

入賞作品は北海道倶楽部や移住促進関係団体などのHPで公表する。北海道倶楽部の会報でも紹介、出版も考え、北海道のイメージアップにつなげる。

◆特別賞 電通北海道 「みんなの力でドクターヘリを」ドクターヘリ充実のため、北海道関連企業や医療関係企業などによるサポーター連合を結成、寄付などで支援する。

送形態を確立する。

「牛乳の消費拡大」北海道倶楽部が関係企業、団体に対して会議等で牛乳を飲むよう率先して提案する。ホクレン等の協力を得て配送形態を確立する。

無料

無料

無料

無料

人民日報 日本支社社長が来場

「北海道が好きなので」 笑顔で交流の輪広げる

(中国人民日报日本支社社長韓曉清さん 写真右)



豪華景品に沸く 最後は恒例の福引き抽選会。今回は協賛各社から約160点の景品が提供された。毛皮のコート、東京一札幌ペア往復航空券、有名ホテル食事付き、ペア宿泊券、ミクニレストラン食事券、ツインクル旅行券その他豪華景品がずらり。当選番号が発表されるたびに、場内に喚声と拍手が沸いた。また用意された斜里町特産のジャガイモは、みんな袋に詰めて持ち帰り、アツという間に無くなったほど好評だった。

講演 「命の格差是正が急務」 國松孝次氏 (NPO救急ヘリ病院ネットワーク理事長)



國松孝次氏が「命の危機管理」と題して午後5時半から講演した。150人収容の会場は満席。氏は平成7年、警察庁長官時代自宅前で狙撃され重傷を負ったが、素早く病院に搬送されたため一命を取り止めた。

しかし北海道では病院への搬送に時間がかかり、救える命も救えなかったケースが多い。「私は東京だから救われた」と、北海道と東京では「命の格差」があまりにも大きいと強調、救急ヘリの充実が急務と訴えた。

北海道86分 東京15分 病院への搬送時間

講演要旨の通り、救急医療は時間との勝負だ。私が警察庁長官をして14年前、何者かに撃たれた時30分で病院に着いた。5分が10分遅れていたら助からなかった。逆に、も腹下出血で倒れた根室の女性の場合、救急車で病院に搬送されるまでに3時間かかり死亡した。

私は東京だから助かった。患者が救命救急センターへ運ばれるまでの時間は、東京が平均15分なのに北海道は86分かかっている。30分以内であれば半数の命が救える。この命の格差はあまりにもひどい。ドクターヘリの充実が必要な理由だ。

現在ドクターヘリは16道府県18カ所に配備されている。北海道は近く3機になるが、6、7機は必要だ。ドクターヘリの効用は医師が付き添い、最寄りの病院ではなく、最適な病院に短時間で搬送できることだ。昨年愛知県の3歳の子供が池に落ち心肺停止になったが、70分離れた静岡県の病院に運ばれ助かった。後遺症もなかったという例がある。救急ヘリの機能が遺憾なく発揮されたケースだ。

ドクターヘリの整備を図るには①国費負担を増やし、都道府県の負担を軽減する②地域住民の理解度を

高めるため救急医療、救急業務の実態を示すデータを公開する③ドクターヘリを中心とした医療体制を考える④北海道は交通事故での死亡者が多いが、その防止のためにも、もっと充実した形でヘリが飛べるよう皆さんのご協力をお願いしたい。

公益事業提案入賞者を表彰

「北海道を感動の大地に」 最優秀賞椿原さん熱っぽく語る



「感動物語」提案で最優秀賞の表彰状を受け取る椿原庸夫さん (北海道新聞社提供)

この中で最優秀作に選ばれた椿原庸夫さん(66)札幌市は「北海道には食、自然、イベント、心やさしい道産子など多くの人に感動を与えるものがある。この感動のドラマを全国、全世界に発信し、北海道を感動の大地にする。それがまた北海道を勇気づけることになると思う。私のこの思いを実現するためお手伝いをさせて欲しい」と話した。

受賞者次の通り。

- ★最優秀賞 椿原庸夫氏 (札幌市)「北海道感動物語 エッセー募集」
- ★優秀賞 ▽桜田隆雄氏 (札幌市)「牛乳の消費拡大」
- ▽阿久津哲郎氏「ふるさとを元気に」
- ▽岡澤秀郎氏「箱根駅伝とのタイアップ」

★特別賞 電通北海道「みんなの力でドクターヘリを」

北海道フェアin代々木

ドサンコ馬が初登場

倶楽部後援

首都圏の人々に北海道の秋の味覚を楽しんでもらう恒例の「北海道フェアin代々木」が10月2-4日、東京の代々木公園で開かれた。今回はアトラクションにドサンコ馬も初登場、3日間約22万人が訪れた。在京の道内市町村出身者らが加入する90余のふるさと会をつくる北海道ふるさと会連合会などが主催し、今年で21回目のイベント。

ふるさと会15団体のほか道内業者約60社が出店。産地直送の特産品を販売する「産直フェア」のほか、ラーメンやジンギスカン、焼きトウキなどの飲食コーナーに、親子連れらの長い行列ができた。

北の味覚と併せ好評だったのが、初お目見えのドサンコ馬。昔は道内で日常的に見られた木材の運搬作業

代々木公園の「北海道フェア」に初登場したドサンコ馬の運搬作業の実演



などを3頭を使い再現したほか体験乗馬もあり、子供らから大人気だった。

平成21年度 会員異動状況

(平成21年12月31日)

単位		平成 20 年度 末	内 容			平成 21 年度 末
			増	減	差引	
維持 会 員	社 数 (社)	166	9	19	△ 10	156
	口 数 (口)	284	7	31	△ 24	260
	登録会員数 (名)	368	95	120	△ 25	343
正 会 員 数 (名)		299	17	46	△ 29	270
個人会員数合計 (名)		667	112	166	△ 54	613

社団法人 北海道倶楽部

名称 損益計算書(正味財産増減計算書)

期間 平成21年1月1日～12月31日	事業 交流事業						調査研究事業	事業(共通)	事業(合計)	事業所 (共通)	事業所 (合計)
	新年交礼会	交流のタベ	交流イベント	交流事業 (合計)	メディア事業	事業(共通)					
基本財産収入	0	0	0	0	0	0	0	0	700	700	
人會金	0	0	0	0	0	0	0	0	115,000	115,000	
正會員會費収入	0	0	0	0	0	0	0	0	3,795,000	3,795,000	
維持會員會費収入	0	0	0	0	0	0	0	0	7,635,000	7,635,000	
広告収入	0	0	0	0	3,475,000	0	0	0	3,975,000	3,975,000	
交流会関係収入	1,790,000	545,000	4,630,000	6,965,000	0	0	0	0	6,965,000	6,965,000	
公益事業引当金収入	0	0	0	0	0	0	0	8,384,174	8,384,174	8,384,174	
収入高合計	1,790,000	545,000	4,630,000	6,965,000	3,475,000	500,000	8,384,174	19,324,174	11,545,700	30,869,874	
給料手当	0	0	70,000	70,000	0	0	0	3,220,080	3,220,080	6,510,160	
諸謝金・雑給	10,000	10,000	0	20,000	0	220,000	260,000	500,000	0	500,000	
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	613,815	613,815	
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	83,356	83,356	
退職給付繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0	117,000	117,000	
外注費(会報・公益事業)	0	2,415,840	291,590	2,707,430	5,852,904	572,595	1,325,910	10,458,839	223,600	10,682,439	
荷造運賃	0	64,050	130,000	194,050	93,960	0	32,540	320,550	0	320,550	
広告宣伝費	0	144,000	0	144,000	0	1,155,000	0	1,299,000	0	1,299,000	
会議費	0	0	19,760	19,760	0	128,650	37,720	186,130	196,842	382,972	
旅費交通費	0	350	3,860	4,210	56,435	25,500	0	86,145	7,810	93,955	
通信費	152,380	100,785	26,250	279,415	611,600	2,640	19,770	913,425	554,011	1,467,436	
会合費	1,525,070	783,650	4,664,261	6,972,981	0	0	0	6,972,981	0	6,972,981	
消耗品費	0	68,970	0	68,970	33,933	11,556	23,523	137,982	224,059	362,041	
事務用品費	0	0	3,752	3,752	1,344	0	0	5,096	37,182	42,278	
新聞図書費	0	0	0	0	115,765	0	0	115,765	0	115,765	
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	20,000	
賃借料	0	0	0	0	0	0	610,042	610,042	407,765	1,017,807	
リース料	0	0	0	0	0	0	72,450	72,450	72,450	144,900	
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	2,000	2,000	
雑費	2,100	13,965	37,422	53,487	27,300	2,625	16,510	99,922	157,989	257,911	
事業費・管理費計	1,689,550	3,601,610	5,246,895	10,538,055	6,793,241	2,118,566	5,618,545	25,068,407	5,937,959	31,006,366	
事業損益金額	100,450	△ 3,056,610	△ 616,895	△ 3,573,055	△ 3,318,241	△ 1,618,566	2,765,629	△ 5,744,233	5,607,741	△ 136,492	
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	78,127	78,127	
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	128,365	128,365	
事業外収益合計	0	0	0	0	0	0	0	0	206,492	206,492	
経常損益金額	100,450	△ 3,056,610	△ 616,895	△ 3,573,055	△ 3,318,241	△ 1,618,566	2,765,629	△ 5,744,233	5,814,233	70,000	
法人税・住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0	70,000	70,000	
当期純損益金額 (当期正味財産増減額)	100,450	△ 3,056,610	△ 616,895	△ 3,573,055	△ 3,318,241	△ 1,618,566	2,765,629	△ 5,744,233	5,744,233	0	
前年度から繰越(前期正味財産)										0	
次年度への繰越(期末正味財産)										0	

社団法人 北海道俱樂部
名称 損益計算書(正味財産増減計算書)比較表 対前年度、対予算

Table with columns for '2021年度実績', '前年度実績との比較', '前年度実績との差額(H21-H20の差額)', and '予算との比較'. It details financial metrics such as '収入' (Income) and '事業費・管理費' (Operating Expenses) across various categories like '基本財産収入' and '役員報酬'.

社団法人 北海道倶楽部

キャッシュフロー計算書

(間接法)

平成21年1月1日～平成21年12月31日

加算減算項目	計算項目	同左 加算減算
当期純損益金額(当期正味財産減少額)	0	0
公益事業引当金収入	8,384,174	△ 8,384,174
退職給付繰入額	117,000	117,000
仮払金 支出(増減)	0	0
仮受金 残高減	△ 152,280	△ 152,280
未払金 支出	△ 4,240	△ 4,240
	キャッシュフロー	△ 8,423,694

貸借対照表

(平成21年12月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金・預金	23,639,054	
仮払金	150,000	
流動資産合計		23,789,054
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金	200,000	
基本財産合計	200,000	
(2) その他固定資産		
什器備品	3,000	
電話加入権	180,000	
その他固定資産合計	183,000	
固定資産合計		383,000
資産合計		24,172,054
II 負債の部		
1. 流動負債		
仮受金	261,700	
流動負債合計	261,700	
2. 固定負債		
退職給与引当金	470,000	
公益事業引当金	23,440,354	
固定負債合計	23,910,354	
負債合計		24,172,054
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産額	0	
当期正味財産減少額	0	
正味財産合計		0
負債および正味財産合計		24,172,054

資産および負債の科目別増減額

(平成21年12月31日現)

(単位:円)

科 目	当 期	前 期	増減額	備 考
I 資 産 の 部				
1. 流 動 資 産				
現 金 ・ 預 金	23,639,054	32,062,748	△ 8,423,694	
仮 払 金	150,000	150,000	0	
流 動 資 産 合 計	23,789,054	32,212,748	△ 8,423,694	
2. 固 定 資 産				
(1) 基 本 財 産				
定 期 預 金	200,000	200,000	0	
基 本 財 産 合 計	200,000	200,000	0	
(2) そ の 他 固 定 資 産				
什 器 備 品	3,000	3,000	0	
電 話 加 入 権	180,000	180,000	0	
そ の 他 固 定 資 産 合 計	183,000	183,000	0	
固 定 資 産 合 計	383,000	383,000	0	
3. そ の 他 資 産				
そ の 他 資 産	0	0	0	
そ の 他 資 産 合 計	0	0	0	
資 産 合 計	24,172,054	32,595,748	△ 8,423,694	
II 負 債 の 部				
1. 流 動 負 債				
仮 受 金	261,700	413,980	△ 152,280	
未 払 金	0	4,240	△ 4,240	
流 動 負 債 合 計	261,700	418,220	△ 156,520	
2. 固 定 負 債				
退 職 給 与 引 当 金	470,000	353,000	117,000	
公 益 事 業 引 当 金	23,440,354	31,824,528	△ 8,384,174	
固 定 負 債 合 計	23,910,354	32,177,528	△ 8,267,174	
負 債 合 計	24,172,054	32,595,748	△ 8,423,694	
III 正 味 財 産 の 部				
前 期 繰 越 正 味 財 産 額	0	3,389,700	△ 3,389,700	
当 期 正 味 財 産 減 少 額	0	△ 3,389,700	3,389,700	
正 味 財 産 合 計	0	0	0	
負 債 お よ び 正 味 財 産 合 計	24,172,054	32,595,748	△ 8,423,694	

財 産 目 録

(平成21年12月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	金 額	備 考
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金			
現金手元有高	0		
普通預金 みずほ銀行	534,406		
普通預金 北洋銀行	492,736		
普通預金 北海道銀行	2,114,264		
定期預金 北洋銀行	10,000,000		
定期預金 北海道銀行	10,000,000		
郵便振替預金	497,648		
未収金	0		
仮払金	150,000		
流動資産合計		23,789,054	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	200,000		
基本財産合計	200,000		
(2) その他固定資産			
什器備品	3,000		
電話加入権	180,000		
その他固定資産合計	183,000		
固定資産合計		383,000	
資産合計			24,172,054
II 負債の部			
1. 流動負債			
仮受金 重複振込預り金	10,000		
仮受金 所得税	214,200		
仮受金 雇用保険	7,500		
仮受金 年会費	30,000		
流動負債合計	261,700		
2. 固定負債			
退職給与引当金	470,000		
公益事業引当金	23,440,354		
固定負債合計	23,910,354		
負債合計		24,172,054	
III 正味財産の部			
正味財産合計		0	
負債および正味財産合計			24,172,054

新年交礼会はがき

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針ほか

- (1) 新しい公益法人会計基準にあわせ、管理費と公益事業費を事業部門ごとに区分し損益計算書を作成した。前年と対比のため同様な項目はまとめた。
- (2) 固定資産の償却は定額法による。
- (3) 退職給付繰入額(退職給与引当金)は期末要支給額の100%を計上している。
- (4) 資金の範囲は原則流動資産と流動負債とする。なお、前期末および当期末残高は、下記3.に記載するとおりである。
- (5) 給料手当、賃借料(行政財産使用料(北海道東京事務所)、北海道支部使用賃借料)、リース料(電話機器)を事業費と管理費に各1/2配賦した。

2 基本財産の増減および残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	期中増減	当期末残高
定 期 預 金	200,000	0	200,000
基 本 財 産 合 計	200,000	0	200,000

3 流動資産・流動負債と収支差額

科 目	前期末残高	期中増減	当期末残高
現金・預金	32,062,748	△ 8,423,694	23,639,054
その他流動資産	150,000	0	150,000
流動資産合計	32,212,748	△ 8,423,694	23,789,054
その他流動負債	418,220	△ 156,520	261,700
流動負債合計	418,220	△ 156,520	261,700
収支差額	31,794,528	△ 8,267,174	23,527,354

平成21年度事業、会計報告につき、以上の通り報告いたします。

平成22年3月8日

社団法人 北海道倶楽部

理事長 西村 守正

監 査 報 告 書

平成21年度の会計報告につき、諸帳票、帳簿を詳細に調査いたしましたところ
適法かつ適正であることを認めます。

平成22年2月18日

社団法人 北海道倶楽部

監事 森田 松太郎

監事 田中 修

監事 西澤 正敬

平成22年度事業計画

平成22年1月1日 から 平成22年12月31日 まで

種 別	内 容
平成22年度事業計画	
1. 基本方針	平成20年度事業計画の基本方針（下記参照）のもと、公益事業推進体制のさらなる整備を行い、公益社団法人の認定を目指す。
<p>平成20年事業計画（抄）</p> <p>1. 基本方針</p> <p>2. 中心の事業</p>	<p>現定款の下、公益社団法人の認定を受けるため体制を整え、5年以内の認定を目指す。認定基準をみたく下記公益目的事業に取り組む。</p> <p>公益目的事業：「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第2条別表19（地域社会の健全な発展を目的とする事業）」に合致する「北海道の発展に貢献する事業」</p> <p>事業は情報の交流を中心とする。なかでも、北海道の情報を道外に発信する分野は北海道にとって必要な分野であるから特に注力する。</p>
2. 管理分野の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人認定に向け、引き続き、新しい公益社団法人の定款について調査、研究、案作成を行う。 ・公益社団法人認定に向け、新しい会計基準の調査、研究、案作成を行う。 <p>昨年度に引き続き公益事業引当金を、公益事業に活用する。（今年度8,000,000円を引落す。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益事業活性化のため、会員増およびボランティア制度新設に取り組むと共に、引き続き新しい会員制度の検討を行う。 ・当法人の各活動について、定款、基本方針、コンプライアンス等の面から検討、調整する。
3. 新規事業の計画 （別表参照）	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道支部でおこなった公益事業の提案募集内容を実施に向け検討する。 ・昨年の公益事業実施の成果を今年度事業推進に活かす。昨年に続き、下記分野ごとに担当を置き、事業推進する。 ・新事業の事業分野（含むキャンペーン） <ul style="list-style-type: none"> 提案募集、提案事業実施について 北海道情報ラックについて 北方領土問題（ブラウンリボンバッジ）について 新幹線北海道延伸について ふるさと納税について ちょっと暮らしについて 同内外の交流、自然の村について アイヌ文化について 食について 環境問題について
4. 既存事業の計画 （別表参照）	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に続き、既存事業を継承しつつ、すべての既存事業に公益性のウェイトを強める。（北海道に対する貢献および会員外の第三者を対象に開かれた活動など公益性に留意する。）
5. 北海道支部の計画 （別表参照）	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に続き道内での公益事業提案募集を行うとともに、昨年度実施できなかった、道内でのキャンペーン・交流事業を行う。
6. 組織・体制	<ul style="list-style-type: none"> ・管理部会、新事業部会、既存事業部会、北海道支部の構成メンバーの拡充をする。 ・ボランティア、企業のメセナなどによる公益事業活動の充実にむけ、体制を整備する。

種 別	内 容	
別表 公益事業計画一覧表 (各部会対応) キャンペーン内容等詳細は各 部会で今後検討する。	新年交礼会 1月22日(金) 於 ホテルニューオータニ 「北方領土返還推進運動」「ブラウンリボンバッジ」キャンペーンの交流事業 (会員以外含め200名出席：会員外の北海道関係者へも案内通知)	1月 済
	交流の夕べ キャンペーンを目的とした夏の交流事業を実施	夏
	北海道支部交流の夕べ(仮称) 公益事業提案募集ほか、キャンペーン、交流事業を実施	未定
	交流イベント 「We Love Hokkaido」 (旧道産子の会、北海道関係者・愛する者の集い 500名) キャンペーン、交流事業を実施	10 月
	特別講演会 キャンペーンなどと連携した講演テーマを検討する。 (講演テーマ、行政との協賛などにより公共性のあるものとし、一般参加者を呼ぶ。)	未定
	情報展示イベント 昨年の千代田区「グリーンフェスティバル」参加による情報展示イベントを今年度も検討する。 (道内情報を伝達することを主としたキャンペーン)	未定
	会報の発行・配布 情報紙「北海道NOW」(平成22年2月発行)の成果も踏まえ、会報の配布先・配布方法、編集内容、発行体制を見直す。	随時
	北海道情報ラック 引き続き北海道関連情報を設置先情報ラックに配信する。	毎月
	ホームページ 刷新・更新	随時
	行政懇談会 北海道・市町村など関係機関との意見交換会	随時
	メディア懇談会 マスメディアとの融合を図り、道内情報を発信するための懇談会	随時
	親睦会 ・北星会(ゴルフ)、麻雀会、囲碁会の運営体制の整備をおこなう。	年 4回

社団法人 北海道倶楽部 平成22年度収支予算書

期間 平成22年1月1日～12月31日	平成22年度予算	
	事業 事業(合計)	事業所 (共通)
基本財産収入	0	700
入金金	0	115,000
正会員会費収入	0	3,795,000
維持委員会費収入	0	7,635,000
広告収入	2,130,000	0
交流会関係収入	6,965,000	0
公益事業引当金収入	8,000,000	0
収入高合計	17,095,000	11,545,700
給料手当	2,000,000	4,000,000
諸謝金・雑給	500,000	0
法定福利費	0	613,815
福利厚生費	0	83,356
退職給付繰入額	0	85,500
外注費(会報・公益事業)	10,771,325	10,994,925
荷運運賃	320,550	0
広告宣伝費	1,299,000	0
会議費	186,130	196,842
旅費交通費	86,145	7,810
通信費	913,425	554,011
会合費	6,972,981	0
消耗品費	137,982	224,059
事務用品費	5,096	37,182
新聞図書費	115,765	0
諸会費	0	20,000
支払手数料	0	0
賃借料	610,042	407,765
リ・一次料	72,450	72,450
租税公課	0	2,000
雑費	99,922	157,989
公益事業費	0	257,911
事業費・管理費計	24,090,813	4,886,379
事業増益金額	△ 6,995,813	6,659,321
受取利息	0	78,127
雑収入	0	128,365
事業外収益合計	0	206,492
事業外費用(雑損失)	0	0
経常増益金額	△ 6,995,813	7,065,813
法人税・住民税及び事業税	0	70,000
当期純増益金額	△ 6,995,813	6,995,813
前年度から繰越(前期正味財産)	0	0
次年度への繰越(期末正味財産)	0	0

前年度対比

前年度実績との比較	前年度実績との差額(H22予算-H21実績の差額)	
	事業 事業(合計)	事業所 (共通)
基本財産収入	0	700
入金金	0	115,000
正会員会費収入	0	3,795,000
維持委員会費収入	0	7,635,000
広告収入	3,975,000	0
交流会関係収入	6,965,000	0
公益事業引当金収入	8,384,174	0
収入高合計	19,324,174	11,545,700
給料手当	3,290,080	3,220,080
諸謝金・雑給	500,000	0
法定福利費	0	613,815
福利厚生費	0	83,356
退職給付繰入額	0	117,000
外注費(会報・公益事業)	10,458,839	10,682,439
荷運運賃	320,550	0
広告宣伝費	1,299,000	0
会議費	186,130	196,842
旅費交通費	86,145	7,810
通信費	913,425	554,011
会合費	6,972,981	0
消耗品費	137,982	224,059
事務用品費	5,096	37,182
新聞図書費	115,765	0
諸会費	0	20,000
支払手数料	0	0
賃借料	610,042	407,765
リ・一次料	72,450	72,450
租税公課	0	2,000
雑費	99,922	157,989
公益事業費	0	257,911
事業費・管理費計	25,068,407	5,937,959
事業増益金額	△ 5,744,233	△ 5,607,741
受取利息	0	78,127
雑収入	0	128,365
事業外収益合計	0	206,492
事業外費用(雑損失)	0	0
経常増益金額	△ 5,744,233	5,814,233
法人税・住民税及び事業税	0	70,000
当期純増益金額	△ 5,744,233	5,744,233
前年度から繰越(前期正味財産)	0	0
次年度への繰越(期末正味財産)	0	0

会員名簿広告減

期中職員1名減

名簿印刷外注費
減、派遣外注増な
と

平成22年3月23日就任 理事、監事、役員候補

役員任期は平成24年3月22日まで

現役員は平成22年3月22日で全員任期満了をむかえる。

公益認定申請をひかえ、退任、交代の申し出をされた方をのぞき、重任のみとした。（就任承諾書の提出を条件とする。）

理事および監事は総会で選任

会長・副会長・理事長・副理事長は理事のなかから総会で選任

NO	倶楽部役員候補		名前
1	理事、会長	重任	松田 昌士
2	理事、副会長兼北海道支部長	重任	小池 明夫
3	理事、副会長	重任	村上 隆男
4	理事、理事長兼管理部会長	重任	西村 守正
5	理事、副理事長兼新事業部会長	重任	岡村 進
6	理事、副理事長兼既存事業部会長	重任	香西 慧
7	理事	重任	阿部 武彦
8	理事	重任	石川 孝
9	理事	重任	泉田 孝
10	理事	重任	上野 徹
11	理事	重任	宇佐美 暢子
12	理事	重任	内山 斉
13	理事	重任	榎本 龍幸
14	理事	重任	及川 智
15	理事	重任	数納 壽
16	理事	重任	片山 知洋
18	理事	重任	木村 昌平
19	理事	重任	栗林 宏吉
20	理事	重任	近藤 剛
21	理事	重任	佐藤 育男
22	理事	重任	沢 邦彦
23	理事	重任	篠田 和久
24	理事	重任	清水 範子
25	理事	就任	白井 芳夫
26	理事	重任	鈴木 秀一
27	理事	重任	関 收
28	理事	重任	高橋 昂平
29	理事	重任	竹鶴 威
30	理事	重任	辰野 清隆
31	理事	重任	棚橋 祐治
32	理事	重任	長井 幸夫
33	理事	重任	永島 雄二
34	理事	重任	中田 一男
35	理事	重任	似鳥 昭雄
36	理事	重任	羽田野 主税
37	理事（事務局長）	重任	本間 修
38	理事	重任	松久 直史
39	理事	重任	溝口 博史
40	理事	重任	八木 秀記
41	理事	重任	安川 英昭
42	理事	重任	吉本 浩昌
43	監事	重任	田中 修
44	監事	重任	西澤 正敬
45	監事	重任	森田 松太郎

平成 2 2 年 3 月 2 3 日 就 任 相 談 役 ・ 顧 問 ・ 参 与 候 補
任 期 は 平 成 2 4 年 3 月 2 2 日 まで

公益認定申請をひかえ、退任の申し出をされた方をのぞき、
重任のみとした。（就任承諾書の提出を条件とする。）

理事会の推薦、理事長の委嘱で選任

役職		氏 名	勤 務 先
相談役	重任	藤田 恒郎	(株)北海道銀行
相談役	重任	児島 仁	日本電信電話(株)
顧問	重任	大瀧 巖	エア・ウォーター(株)
顧問	重任	大野 晃	森永乳業(株)
顧問	重任	大森 義弘	北海道旅客鉄道(株)
顧問	重任	栗林 定友	栗林商船(株)
顧問	重任	島村 靖三	明治乳業(株)
顧問	重任	白本 貞昭	(株)トーモク
顧問	重任	高橋 国二	(株)東欧商会
顧問	重任	田崎 孝	無臭元工業(株)
顧問	重任	田中 時信	オエノンホールディングス(株)
顧問	重任	松村 幹夫	三喜工業(株)
参与	重任	厚谷 襄児	日比谷総合法律事務所
参与	重任	磴 正雄	西新橋総合事務所
参与	重任	大坪 英臣	東京大学
参与	重任	小笠原 昌平	日本高圧コンクリート(株)
参与	重任	押田 義一	サッポロビール(株)
参与	重任	荻谷 忠男	北海道テレビ放送(株)
参与	重任	齋藤 久章	斎久工業(株)
参与	重任	佐々木 巖	(株)サニー
参与	重任	高木 晃一	
参与	重任	戸田 守道	戸田建設(株)
参与	重任	中村 喜久男	(株)岡村製作所
参与	重任	和田 壽郎	札幌医科大学